



西林寺のツツジ



西林寺だより

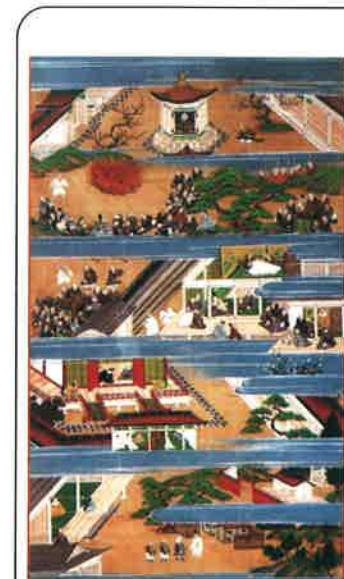
発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
iタウンページ
西林寺

杖つえのことば

念ねん仏者は

無む礙げの

一いち道どうなり



4幅の御影の4幅目

西林寺の沿革(その6)

西林寺が現在地に移転して50年も経たない正徳6(1716)年に本堂が再建されます。享保18(1733)年には梵鐘の寄進があり、鐘楼も建立されます。この鐘楼は創建か再建かは不明ですが、この頃に寺院としての設備が整ったようです。また、それから50〜60年後にも本堂が再建された記録があります。詳細は不明ですが、どちらかは増築かも知れません。

明和9(1772)年には、親鸞聖人の御生涯を顕した御絵伝(4幅の御影)が本願寺より下附されています。この御影は浄土真宗で一番大切な行事である「報恩講」に本堂の左余間に4幅並べて安置します。4幅並べると、2間(畳2枚分)の幅が必要なることを考慮すれば、この頃すでに今の本堂と同じ規模の本堂が造立されていたこととなります。

昭和30(1955)年、本堂は火事で全焼しますが、御絵伝は焼失を免れました。

仏教壮年会 あれこれ

総会及び懇親会

4月7日(土)平成30年度総会を開催しました。来年は西林寺仏教壮年会結成50周年にあたり、記念行事として、来年1月に台湾の真宗寺院参拝旅行や特別行事を考えていこうと提案されました。総会の後、花見を想定しておりましたが、開花が例年より早まり葉桜となったことに加え、寒風が強く門信徒会館での懇親会となりました。たまたまこの日は、住職の誕生日であり、坊守さんの誕生日も翌日ということで誕生日ケーキで乾杯し、お祝いしました。



納涼ビヤガーデンのご案内

今年も恒例となっております納涼ビヤガーデンを7月28日(土)午後5時より開催します。そうめん流しやおいしい焼肉を食し、冷たいビールで暑さをふっ飛ばしましょう。お子さまも女性の皆さまも大いに歓迎です。申し込みは西林寺及び仏教壮年会会員まで。

花まつり



4月5日(木)

お釈迦さまのご誕生をお祝いする花まつりに、多くのお友達が参加し、「誕生仏」に甘茶をかけた「やまびこ」の皆さんの絵本やお話しを楽しく聞きました。



キッズサンガのご案内

7月31日(火)に行います。お友達といっしょにお寺で楽しい一日をすごしましょう。「そうめん流し」もあります。申し込みは西林寺及び最寄りの仏教婦人会会員まで。



昨年参加のお友達

法座案内

安居会
お休み
(客殿改修工事のため)

孟蘭盆会
八月 十四日(火) 昼席より
十六日(木) 朝席まで

講師 東広島市黒瀬町
浄願寺 長尾量之師

彼岸会
九月二十二日(土) 昼席より
二十四日(月) 朝席まで

講師 未定

朝席7:00〜・昼席13:15〜・夜席19:30〜

編集後記

客殿の改修工事も佳境を迎え、11月10日(土)に修行する記念法要の準備も徐々に整ってくることでしよう。次号では、この度の記念事業と記念法要の詳細をお知らせいたします。

また、発行以来『西林寺だより』は、門徒総代の皆さまにご足労いただき、皆さまに届けています。ここに謹んで感謝の意を表します。

聞思録(もんしりく)

先日、父の33回忌の法要を勤めました。亡くなる前日に、「お浄土が在るとか無いとかじゃない。親さまのお約束が間違いないことに安心させてもらえ」と、母を通して語ってくれました。当時大学院生で机上でしか仏法を学んでいない私への遺訓です。

人は死んだらどうなるのか。死んだ先は在るのか無いのか。在るとすればどんな世界か。これは古今東西、人類の人間存在そのものの大問題です。父は「お浄土の有無が問題ではないぞ。親さまのお約束(仏さまの誓い)のいのちの根源を照らす真実のはたらき」によって、この人生の意味に目覚め、苦悩を越えてゆく人生を歩むことこそ肝要で、執われの必要のないいのちに出遇える仏さまの教えに導かれた歩みを進めるように」と伝えられたのだと思います。

『正信偈』に続いて拝読する「和讃」に

解脱の光輪きはもなし
 光触かぶるものはみな
 有無をはなるとのべたまふ
 平等覚に帰命せよ

とあります。ここには「苦しみや迷いから解放され、悟られた仏さまの光明は辺際がなく、その光に譬えられるみ教えに遇うものは誰でも、在るとか無いとか、そういう執われ

を離れる智慧を恵まれます。この仏さまを拠りどころとした、いのちの歩みをすすめましょう」と教示されています。お浄土とは、そういった確かなものに育てられて生きる「いのちの方向」を指示するものであり、この人生を空過しない歩みとしてほしいという願いであり、はたらきなのです。

「杖のこぼし」は、『歎異抄』の言葉です。お念仏と共に生きる人には、苦しみは苦しみのままに、悲しみも悲しみのままに、この身に引き受けていける世界が開かれます。私たちは自分に起こる事柄を、自分の都合の良いように判断します。それでは人生は不都合なことであふれて、いつまで経っても満足できません。そのような人間の深い闇を照らし、破るはたらきに出遇うことが、親さまのお約束(仏さまの誓い)お念仏(お浄土)に出遇うということなのです。そこに何ものも障りとならない(無礙)人生(二道)が開けてくるのです。それまで障りであったものが、そのまま障りでなくなる智慧を恵まれた人生、それこそが本当のいのちの意味に目覚めた人生であり、お浄土に照らされた、執われを離れた人生です。

この人生で死を前にしても色あせない確かなものに出遇った人には、明日も、そして死んだ先さえも「おまかせします」と言い切れる人生が開けてくるのです。

「法名」って何？

「法名」は中国仏教の基礎を築いた道安(314~385)という僧侶が、お釈迦さまのお心を体して、皆平等にお釈迦さまの「釈」の字をもって姓とすべきであると提唱し、「釈道安」と名乗ったことに由来します。

浄土真宗では「釈〇〇」の二字とし、「帰敬式」を受式してご門主からいただきます。「帰敬式」は、親鸞聖人が明らかにされた「み教え」に、自らの人生を問いたずね、真宗門徒としての自覚を深める大切な儀式です。

「法名」という新たな名前をいただくことを本当のいのちが目覚めてゆく歩みを始める、人生の新たなスタートと意味づけ、できるだけ早い機会に「帰敬式」を受けたいものです。



平成5年 西林寺において

この度、11月10日(土)西林寺に本願寺御連枝が御下向され、特別に「帰敬式」が執行されます。この機会にぜひ受式ください。

祝賀アトラクション

に続き、祝賀アトラクションが開催されました。マジシャンRYO氏による本格マジックショーでは、会場内おどろきと興奮に包まれました。



また華やかな舞踊や全員の参加の踊りで盛り上がり、最後に「真宗宗歌」を唱和して、親鸞聖人のご誕生をお祝いしました。



新役員のご紹介

- | | |
|-----|-------------|
| 会長 | 奥廻 幸恵 |
| 副会長 | 細川 信子・寺廻 千晶 |
| 会計 | 土井 幸枝・長田ちとせ |
| 総務 | 林 章子・山際 瑞江 |
| 書記 | 井上 逸子・楠 洋子 |
| 監査 | 正原 弥生・藤岡 愛子 |
| 理事 | 野村眞知子・高下 良江 |
| 顧問 | 吉野みや子・車地みのぶ |
| | 吉原 幸枝 |

初参式

親鸞聖人のご誕生日をご縁として、お子さまの誕生を仏さまに奉告する合同初参式が、5月19日(土)に執り行われました。今年7名のお子さまとご家族



参詣されました。親子揃って仏縁に遇う最初の大切な儀式を終えられ、念珠と記念品をいただき、門徒の仲間入りをされました。降誕会法座の昼席



仏教婦人会 あれこれ

追弔法要及び総会



4月19日(木)平成29年度に亡くなられた会員17名の追弔法要が、多数の会員の皆さまにお参りいただき、厳かに執り行われました。

いつもお念仏とともに生きてこられた物故者皆さまの生前のご活躍に対し、心から感謝申しあげます。

今年度より、奥廻幸恵新会長のもと、一同力を合わせて活動に取り組んでまいります。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



仏教婦人会行事案内

- 一本堂おみがき 八月十一日(土)
- 二盆踊り 八月十五日(水) 夜席の後

西林寺門徒総代紹介

6月2日(土)平成30年度西林寺門徒総代定例総会が開催され、次の皆さまが今年度の役員として承認されました。

<p>中村地区 代表総代 石渡 英明 正原 利朗・二艘木一志 中村 重徳・中村一憲 大判 実(太田 憲吾)</p>	<p>勿条地区 代表総代 宮地 清蔵 峠田 巧・吉野 寿文 太田 恂逸・河原 俊夫 蔵田 正司・山崎 浩 寺廻 捷洋・上刎 好登 藤田 榮・縫部 逸都 (田嶋 由巳)</p>	<p>濱官地区 代表総代 村上 孝良 三満富士雄・豊岡 積 大和 雅博・野村 朋子 豊岡 秀雄・尾崎 一彦 尾崎 光治(西原 清)</p>	<p>上條地区 代表総代 高下 健二 高下 護・車地 尚徳 林 勝征・渡子 昭弘 久留島 勝・榎尾耿之介 田向 和三・山木戸 満</p>	<p>西側地区 代表総代 岡田 保次 久保 宗雄・大廻 順三 山田 正博・菅田 一郎 山本 輝昭</p>	<p>森浜地区 代表総代 中村 一孝 浜本 伸浩・大下 久夫 大崎 徹・吉野 幸夫 大崎 茂徳・梶谷 一彦 桑原 昇・寺廻 久志 榎尾 正之・寺廻 豊</p>	<p>植田地区 代表総代 山本 政信 下花 勝・林 和則 高下 實成・高下 照夫 東岡 勝・慶徳 均 榎尾 洋一・土田 高廣 藤田 好夫</p>	<p>水尻地区 代表総代 車地 守</p>
---	---	---	--	--	---	--	-------------------------------

()内は昨年度までの総代です。

帰敬式受式者 募集のご案内
稚児出仕者

この度の本願寺専如門主法統継承と西林寺客殿改修落成の記念法要を11月10日(土)に修行いたします。

記念行事といたしまして、御連枝の御下向を賜わり、帰敬式(法名をいただく儀式)を執り行います。また、記念法要に出仕いただく稚児を募集いたします。

申し込み案内を、お手元にお届けしますので、お日にちをあけておいてください。またとないご縁です。万障繰り合わせての受式及び出仕をいただきますようご案内申し上げます。 合 掌

帰敬式

集合時間 10時30分予定

場所 西林寺本堂

場 冥加金 金2万円

場 冥加金 金7千円

稚児出仕 申込締切 平成30年8月20日(月)

集合時間 11時30分予定

冥加金 金7千円

出仕資格 年齢 零歳から10歳位

申込締切 平成30年9月30日(日)

西林寺記念事業進捗状況

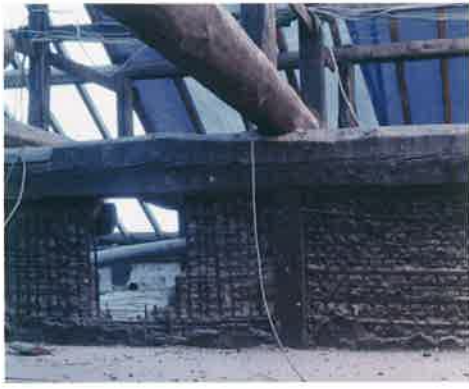
客殿改修工事



かまちや柱及び野地板の殆どが腐食していた状況は前号で報告しました。その後、客殿の屋根裏を確認しましたところ、写真のように60年前の本堂火災時に客殿まで及ん

でいた状況を改めて知らされました。業者の説明では、表面は焼けていますが、俗にいう「焼杉」と同じで芯は腐らず永年耐久性はあるとの事でしたが、急遽、臨時役員会を開催し検討した結果、強度を考えると今後の耐震性が必要であるので補強工事を行うことになりました。

屋根工事はほぼ完了し、内装工事に移り、工事完了は8月のお盆前の予定にしております。



樹木伐採工事

境内にあった桜木ともみじ木の伐採後、寸断されてしまった木を、仏教壮年会の数人が出で薪割りをしました。薪状になった木は年末大晦日の「かがり火」に使っています。

